

2009 年

3 月 29 日（日曜日） - 命を育む女性力あふれる里・丹後 「丹後女性フェスティバル初開催」 -

本日、「丹後女性フェスティバル「きらめき」」が開催されました。主催は丹後わくわくスポット「きらめき」の皆さんですが、この組織は京都府ソフト事業「地域わくわくスポット支援事業」を発端として昨年 4 月に結成された女性団体で、過日は食文化交流会も開催されました。本日の会場には、京都府男女共同参画センターの浜野館長さんや京都府男女共同参画監の長浜さん、南丹市や舞鶴市はじめ広く府内から女性団体の皆さんもお越しであり、京丹後市内の多くの女性団体の皆さんとともに、よさこい踊りの演舞やグループ活動紹介、出展など盛大に開かれました。

丹後は、いろんな命を育む力に優れた里であると感じています。一つには、良質の農産物、海産物に恵まれた、命を育む「食の里」であります。また、古代から“あしぎぬ”など絹織物の盛んな、命を包む羽衣、「衣の里」でもあります。さらには命を育む「住の里」にふさわしい自然環境にあふれ、人々の心根は概ね穏やかで、命を守る和みの「心の里」であります。このようにいくつか挙げるだけでも、命を育むたくさんの豊かさに恵まれているのが、この丹後です。そして、命を育む機能の代表的なものが女性のお働きであるとするれば、その意味で、丹後は女性的な豊かさにあふれた里であります。古代より古代天皇家との関係、女王の古墳、丹後七姫など丹後の女性の活躍が傑出しているのもそんな土地のエネルギーに由縁しているのではないかと感じます。

今、厳しい社会経済状況の中で、いかに丹後の活性化を図っていくかが問われていますが、もちろん男女ともにいろんな尽力をしていくことが必要である一方で、丹後の底力に共鳴発展していくためにも丹後の原点、丹後が具有する本性のようなものに立ち返り、そんな特色を活かした取り組みを進めていくことが大切です。そして、丹後の具有する本性や特色の大きな一つとして、命を育む女性的な機能に優れていることだとすれば、今後とも、丹後の女性の皆さんにはますます丹後の活性化をリードしていく大きな核になっていただけると確信しています。今回初めて開催されたこのフェスティバルが、女性がリードする丹後の活性化への“きらめく”ような弾みとなりますよう大きく期待をしています。